



2026年2月9日

各位

会社名：古河機械金属株式会社

代表者名：代表取締役社長 中戸川 稔

(コード番号 5715 東証プライム市場)

問合せ先：取締役上級執行役員 経営企画部長

今野 光一郎

(TEL 03-6636-9501)

会社名：川崎重工業株式会社

代表者名：代表取締役社長執行役員 橋本 康彦

(コード番号 7012 東証プライム市場・名証ブルーミア市場)

問合せ先：執行役員

コーポレートコミュニケーション総括部長

鳥居 敬

【東京】TEL 03-3435-2130

【神戸】TEL 078-371-9531

株式会社アーステクニカ株式譲渡契約締結に関するお知らせ

古河機械金属株式会社（代表取締役社長 中戸川稔、以下「古河機械金属」といいます。）と川崎重工業株式会社（代表取締役社長執行役員 橋本康彦、以下「川崎重工」といいます。）は、古河機械金属の機械事業と川崎重工の子会社で破碎機事業を行う株式会社アーステクニカ（以下「アーステクニカ」といいます。）の更なる成長と発展を目的として 2025年5月13日付「株式会社アーステクニカ株式の譲渡の検討を開始する基本合意書の締結について」にて開示いたしました、アーステクニカの株式の譲渡（以下「本株式譲渡」といいます。）についてこれまで協議を行ってきたところ、本日開催の各社における取締役会において本株式譲渡に係る契約の締結を決議し、本日付けで株式譲渡契約書を締結いたしましたので、お知らせいたします。本株式譲渡は、川崎重工が保有するアーステクニカの発行済株式の全てを古河機械金属に譲渡するのですが、二段階に分けて実行される予定で、古河機械金属は、一段階目の株式譲渡によりアーステクニカの発行済株式のうち 60%に相当する株式を取得し、二段階目の株式譲渡により残りの 40%に相当する株式を取得する予定です。

記

1. 株式譲渡の理由

古河機械金属は、鉱山で培われた長年の機械技術を背景に国内外の社会インフラ整備を支える機械事業をコア事業として位置づけ、企業価値向上に取り組んでおります。

アーステクニカは、インフラ需要に必要不可欠な建設資材である碎石分野、循環型社会に貢献する廃棄物のリサイクル分野、医薬品や食品業界など様々な分野で破碎・粉碎・選別の優れた技術をもち、高い評価を受けております。

古河機械金属は、本株式譲渡により、アーステクニカの優れた技術力と顧客の信頼を得ることにより、自らの産業機械部門における破碎機事業の技術力、生産性およびコスト競争力、顧客サービスの飛躍的な向上を図ることができ、国内碎石業界の発展に寄与することが可能となります。

また、近年の地球環境保護の気運の高まりを受け、アーステクニカの主力分野に成長した環境リサイクル分野にも経営資源を投下し、地球環境保護に貢献していきます。

更に、世界の鉱山・碎石市場において、古河機械金属はロックドリル部門の事業に関し、アーステクニカは大型の鉱山機械に関し、多くの納入実績と知名度を有しております、両社がもつ販売・サービスネットワークを融合して、事業領域を拡大（鉱山・碎石の上流から下流まで）することで海外事業が強化され、海外市場においてもシナジー効果が期待できます。

川崎重工は、古河機械金属との検討の結果、同社がコア事業と位置付ける鉱山関係を主軸とした機械事業の持つ強みが、アーステクニカの事業成長、特に環境事業の拡大と海外進出という将来の成長ビジョンと親和性があり、両社がシナジーを発揮することで一層の成長加速が望め、古河機械金属およびアーステクニカ双方にメリットがあると判断いたしました。

以上の通り、古河機械金属と川崎重工は、古河機械金属の下でアーステクニカの事業成長を期待できると判断し、アーステクニカの株式譲渡について合意をいたしました。アーステクニカの全株式譲渡に至る際には、古河機械金属は、アーステクニカを中心事業会社として迎え入れ、親和性のある古河機械金属グループの機械事業とのシナジー追求および経営資源の投下により、古河機械金属の機械事業とアーステクニカの事業をより強化・拡充することで、お客様のご要望に一層応えていきます。

2. 異動する子会社（アーステクニカ）の概要

(1) 名 称	株式会社アーステクニカ
(2) 所 在 地	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町二丁目 4 番地
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 西 昌彦

(4) 事業内容	1. 土木工事、建設工事、管工事、機械器具設置工事、清掃施設工事、電気工事、鋼構造物工事の設計、施工、監理。2. 破碎機、粉碎機、選別機、摩碎機、乾燥機、粉体機器およびこれらに係わるプラント等の設計、製造および販売。3. 建設廃棄物、産業廃棄物、一般廃棄物等のリサイクル用機器およびこれらに係わるプラントの設計、製造および販売。4. 耐摩耗・耐熱等鋳造製品の設計、製造および販売。5. 前2号、3号および4号に記載の製品の補修部品、予備品の製造および販売。6. 前各号に記載する製品の据え付け、保守・点検および修理、操業、維持管理に関する業務。7. 前各号記載に付帯関連する一切の事業。8. 前2号、3号に定める物品の古物売買。		
(5) 資本金	1,200 百万円		
(6) 設立年月日	1987年6月15日		
(7) 大株主および持株比率	川崎重工業株式会社 100%		
(8) 古河機械金属と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
(9) 川崎重工と当該会社との間の関係	資本関係	川崎重工は、当該会社の発行済株式の 100%を保有しております。	
	人的関係	川崎重工の執行役員 1 名が当該会社の取締役を、川崎重工の従業員 1 名が当該会社の監査役を兼務しております。	
	取引関係	川崎重工、および関係会社は当該会社の製品を購入しております。また、川崎重工と当該会社との間にサービス提供等の取引関係がございます。	
(10) 当該会社の最近3年間の経営成績および財政状態			
決算期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
純資産	6,072 百万円	6,521 百万円	7,020 百万円
総資産	15,182 百万円	14,764 百万円	15,551 百万円
1株当たり純資産	235,340 円	252,760 円	272,079 円

売上高	16,903 百万円	16,026 百万円	17,020 百万円
営業利益	864 百万円	862 百万円	934 百万円
経常利益	885 百万円	950 百万円	957 百万円
当期純利益	622 百万円	691 百万円	775 百万円
1 株当たり当期純利益	24,096 円	26,764 円	30,042 円
1 株当たり配当金	9,640 円	10,710 円	12,020 円

(参考) 異動する子会社および孫会社を単純合算した最近3年間の経営成績および財政状態

決算期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
純資産	6,434 百万円	6,933 百万円	7,470 百万円
総資産	16,549 百万円	16,278 百万円	16,928 百万円
売上高	19,905 百万円	19,576 百万円	20,462 百万円
営業利益	945 百万円	986 百万円	1,035 百万円
経常利益	966 百万円	1,071 百万円	1,059 百万円
当期純利益	672 百万円	766 百万円	851 百万円

(注) アーステクニカは連結財務諸表を作成していないため、同社の子会社である株式会社アーステクニカ M&S との単純合算の数値を記載しております。なお、1 株当たり純資産、1 株当たり当期純利益、1 株当たり配当金につきましては、記載しておりません。

3. 譲渡人（川崎重工）の概要

(1)	名称	川崎重工業株式会社
(2)	所在地	神戸本社 〒650-8680 兵庫県神戸市中央区東川崎町3丁目 1番1号 東京本社 〒105-8315 東京都港区海岸1丁目14番5号
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長執行役員 橋本 康彦
(4)	事業内容	航空宇宙システム事業、エネルギーソリューション&マリン事業、精密機械・ロボット事業、車両事業、パワースポーツ&エンジン事業およびその他事業
(5)	資本金	104,484 百万円
(6)	設立年月日	1896年10月15日
(7)	連結純資産	725,064 百万円（2025年3月31日現在）
(8)	連結総資産	3,016,951 百万円（2025年3月31日現在）

(9)	大株主および持株比率	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 15.01% 株式会社日本カストディ銀行（信託口） 8.09% 日本生命保険相互会社 3.42%	
(10)	古河機械金属と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	該当事項はありません。

(注) 大株主および持株比率は、2025年3月31日時点における大株主の株主名簿上の株式数、発行済株式数（自己株式を除きます。）によって記載しております。

(注) 持株比率は小数点以下第三位を四捨五入しております。

4. 譲受人（古河機械金属）の概要

(1)	名 称	古河機械金属株式会社	
(2)	所 在 地	東京都千代田区大手町二丁目6番4号	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 中戸川 稔	
(4)	事 業 内 容	機械事業：1. 産業機械、鋼構造物、橋梁等の製造販売およびサービスならびに各種工事の請負 2. 油圧ブレーカ、プラストホールドリル、トンネル工事鉱山用機械等の製造販売 3. ユニッククレーン、ミニ・クローラクレーン等の製造販売 素材事業：1. 銅、金等の委託製錬・販売 2. 高純度金属ヒ素、結晶製品等の製造販売 3. 硫酸、亜酸化銅等の製造販売 その他：不動産、運輸、金属粉体、鋳物等事業	
(5)	資 本 金	28,208百万円	
(6)	設 立 年 月 日	1918年4月15日	
(7)	連 結 純 資 産	133,572百万円（2025年3月31日現在）	
(8)	連 結 総 資 産	257,107百万円（2025年3月31日現在）	
(9)	大株主および持株比率	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） 11.43% 朝日生命保険相互会社 6.70% 清和総合建物株式会社 5.46%	
(10)	川崎重工と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	該当事項はありません。

(注) 大株主および持株比率は、2025年3月31日時点における大株主の株主名簿上

の株式数、発行済株式数（自己株式を除きます。）によって記載しております。
(注) 持株比率は小数点以下第三位を四捨五入しております。

5. 古河機械金属の取得株式数、取得前後の所有株式の状況

(1)	取得前の所有株式数	0 株 (議決権の数：0 個) (議決権所有割合：0.0%)
(2)	取 得 株 式 総 数	一段階目：15,480 株 (議決権の数：15,480 個) 二段階目：10,320 株 (議決権の数：10,320 個)
(3)	取 得 価 額	取得価額につきましては、当事者間の合意により非開示とさせていただきますが、第三者による価値算定結果を参考に、取締役会にて取得価額を決定しております。
(4)	取得後の所有株式数	一段階目完了後：15,480 株 (議決権の数：15,480 個) (議決権所有割合：60.0%) 二段階目完了後：25,800 株 (議決権の数：25,800 個) (議決権所有割合：100.0%)

6. 日程

(1)	取 締 役 会 決 議 日	古河機械金属：2026 年 2 月 9 日 川崎重工：2026 年 2 月 9 日
(2)	株式譲渡契約締結日	2026 年 2 月 9 日
(3)	株 式 譲 渡 実 行 日	一段階目（古河機械金属による連結子会社化）： 2026 年 4 月 1 日（予定） 二段階目（古河機械金属による完全子会社化）： 2027 年 4 月 1 日（予定）

(注) 本株式譲渡の実行は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（独占禁止法）に基づく手続きの完了等を前提条件としているため、株式譲渡実行日は変動する可能性があります。

7. 今後の見通し

本株式譲渡による古河機械金属および川崎重工の業績への影響等につきましては、開示すべき事項が明らかになった場合には速やかにお知らせいたします。

以上